みさと 議会だより

No. 94
2026.10.30
■発行：秋田県美郷町議会　■編集：議会広報常任委員会

議会トップページへ▶



秋田キャラバンミュージックフェス（にかほ市）



▲佐藤 和仁会長

キラリ美郷 vol.83

「美郷まんま」誕生20周年

美郷づくし研究会

会長の佐藤和仁さんにお話をうかがいました。

美郷町の優れた食材を活用し、食を通した地域おこしを目的に活動しています。

20年前、商工会青年部が「秋田県商工会おもてなし祭り」に味付けまんまを出品し、ベストパフォーマンス賞を受賞しました。その後、任意団体「美郷づくし研究会」として独立し、ご当地グルメ「美郷まんま」を販売しています。

現在は、道の駅美郷など飲食店で提供されているほか、レトルトパックの商品はお土産としても喜ばれています。また、町内の小中学校の給食メニューにもなっており好評です。県内外のイベントにもひっぱりだこで、美郷町のPRに努めています。

会員は14名で職種は多様です。会員の若返りを図りつつ、アイデアを出し合いながら、これからも地道により良い商品の開発に取り組んでいきます。

問い合わせ　美郷づくし研究会公式ホームページ
https://r.goope.jp/misatodukushi/

議会のうごき

8月31日から12日間の会期で、9月定例会が行われました。令和7年度決算を認定したほか、令和8年度補正予算と条例制定、人事、その他の案件を審議し、すべて原案のとおり可決・承認しました。9月9日の一般質問には、3名の議員が登壇しました。



総務産業常任委員会は、所管事務調査を実施し、スマート農業の現状や園芸等メガ団地への支援などを調査しました。（写真）

野外芸術作品、学友館所蔵品図録お披露目会、敬老記念行事など、町主催の行事にも出席しました。

定例会（9月）

行財政全般

上程　表決

YouTube

条例　美郷町名誉町民条例を制定

美郷町名誉町民の称号を贈り、その功績をたたえることを目的とした「美郷町名誉町民条例」が制定されました。

広く社会文化の興隆に多大に貢献し、その功績が卓越し、郷土の誇りとして町民から深く尊敬されている方が対象となります。

質疑と答弁

問 **他の表彰制度が規則に基づいている中で、新たに条例とする理由は。**

答 地方自治法に基づく議会の同意という手続きを経ることで、地域全体でその功績を心からたたえることにつながるものと考え、条例とした。

定例会（9月）

行財政全般

建設

教育文化

商工観光

暮らし・環境

上程　表決

YouTube

予算　町道の舗装補修工事の増額などを可決

各会計の補正予算を可決しました。

一般会計に追加された主な事業は、総合体育館リリオスの得点表示システム購入（792万円）、大台野広場イベント棟屋根の改修工事（385万円）、千畑なかよし園屋根の防水工事（352万円）、安楽寺児童公園の遊具設置工事（257万円）、農業関係の県補助金など。プライマリーバランス確保のための繰上償還元金（３億1028万円）も計上されました。

また、増額となった主な事業は、町道の舗装補修と外側線等の設置（２億2712万円）、鳥獣被害対策実施隊の報酬と費用弁償（442万円）、中小企業持続化支援事業補助金など。予約制乗合タクシーの運行に係る負担金（２ページ下段）も計上されました。

追加議案では、７月29日および８月１日からの大雨による災害復旧に係る事業（３ページ上段）が計上されました。

令和８年度　補正予算（追加議案を含む）

会計名	補正総額	補正後累計
一般会計	7億7217万円	128億6290万円
国民健康保険特別会計	321万円	22億1011万円
後期高齢者医療特別会計	48万円	3億5816万円

定例会（9月）

福祉健康

予算　乗合タクシー利用者増により負担金を増額

予約制乗合タクシーの利用者が増加していることから、利用見込みの見直しが行われ、運営団体に支払う負担金が増額されました。

	当初	変更後
運行率	70％	92％
年間運行便数	3870便	5070便
年間利用人数	6500人	7500人
予算金額	1333万円	2054万円

まちの声



田口ヨシさん
（善元寺）

運転免許証を返納してから乗合タクシーを利用しています。役場に用事があるときや、通院、買物に行くときに便利です。家の前の道まで来てくれるので、助かっています。乗り合った方々との会話も楽しんでいます。

定例会（９月）

農　業
商工観光
建　設

YouTube

予算　大雨被害の災害復旧予算を可決

7月29日および８月１日からの大雨に伴う災害対応として2856万円の補正予算を可決しました。

内訳は、六郷温泉あったか山温泉水中ポンプ交換工事（2222万円）、町道湯田川線の測量調査委託料（134万円）、町道湯田川線の災害復旧工事（源泉ポンプ小屋周辺土砂崩れの撤去を含む。480万円）、頭首工の災害復旧費として土地改良事業団体への補助金（20万円）となっています。

質疑と答弁

問　休止中のあったか山温泉露天風呂は再開できるか。

答　温泉水中ポンプの交換により、再開を目指す。



ポンプ小屋周辺の土砂崩れ

定例会（９月）

行財政全般
農　業

YouTube

発議　備蓄米の買い入れ実施等を求める意見書を提出

政府備蓄米の適切な数量・価格での買い入れ実施と、安定的な米の生産・供給体制の確立に向け、適切な対策を講じるよう、国に対し意見書を提出しました。意見書の内容は次のとおり。

①米の需給状況を的確に把握し、早期の備蓄米の買い入れを実施すること。
②政府備蓄米の買い入れには、再生産価格を十分に考慮すること。
③政府備蓄米の適正な水準を確保し、災害や不作などの備えを強化すること。
④担い手の確保・育成、農業経営の安定化の施策を一層充実すること。
⑤政府主導により、若い力が農業に飛び込める環境の整備をすること。

採決結果

第７回議会定例会（９/11）　採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。
議長は採決には加わりません。

○：賛成　●：反対

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
議案等名 ＼ 議員名		高橋純	髙橋正和	熊谷良夫	澁谷俊二	松田信義	村田薫	長谷川幸子	森元淑雄	鈴木正洋	髙山茂雄	深沢義一	深澤均	高橋邦武	
認定第１号	令和７年度美郷町一般会計決算認定について	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○		認定
認定第２号	令和７年度美郷町国民健康保険特別会計決算認定について	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○		認定
認定第５号	令和７年度美郷町後期高齢者医療特別会計決算認定について	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○		認定
陳情第10号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情	○	○	欠	○	○	○	○	●	○	○	○	○		採択

議　会　メ　モ

９月定例会の掲載記事以外の議案等（主なものを抜粋）

条例

・美郷町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除等に関する条例の一部改正

陳情

・地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情
⇒採択し、関係機関に意見書を提出

人事

【人権擁護委員の推薦を可決】
・橘　正幸　氏（再任）

その他

・美郷町指定金融機関の変更
・財産の取得
（Microsoft Office LTSC 455ライセンス）

定例会（9月）

行財政全般

議案上程

YouTube

決算　令和７年度決算を認定、財政状況は良好

令和７年度の決算を審査し、認定しました。

一般会計の経常収支比率は83.0％で、財政状況は良好です。

内容については、決算特別委員会を設置し、細部まで詳しく確認しました（５ページ）。



決算特別委員会　10人で審査

令和７年度　決算額

会計名		歳入	歳出	実質収支
一般会計		148億6488万円	141億1800万円	6億509万円
特別会計	国民健康保険	18億4462万円	17億6808万円	7653万円
	下水道事業	2億6104万円	2億2126万円	3969万円
	農業集落排水	1億7955万円	1億5818万円	2137万円
	後期高齢者医療	2億9661万円	2億9613万円	48万円

会計名	区分	事業収益・収入	事業費用・支出
水道事業会計	収益的収支（税抜）	3億6643万円	3億6459万円
	資本的収支（税込）	2億9416万円	4億5667万円

監査委員による審査意見（一部抜粋）

各会計の決算は関係法令に基づき執行されており、財務事務および経営に係る事業の管理も、適正であると認められた。

収入未済額の縮減に向けた取り組みが成果をあげてきていることは、高く評価できる。

財政健全化に向けた取り組みや、町債の繰上償還の実施などにより、財政状況は良好である。今後も堅実な運営を続けてほしい。



監査委員による審査

討論　一般会計

YouTube

反対【高橋純議員】一般会計の実質収支で６億円の黒字が生じているのなら、物価高騰で厳しい生活を強いられている町民に、町独自の支援策を講じることができたのではないか。町民生活への支援という観点から、十分に対応されたとは言い難い。

賛成【森元淑雄議員】子ども子育て支援施設の整備に、特定財源を確保できたことを評価する。近隣地の宅地開発事業とともに、活気ある町の実現につながる。町民の経済的負担の軽減を図る生活支援券を支給し、中小企業等への経済支援も行った。

討論　国民健康保険特別会計

YouTube

反対【高橋純議員】町には十分な財政力がありながら一般会計から追加繰入を行わず、国保加入者に対する独自の支援策を実施しなかった。国の方針に盲従し、町民に重い負担を強いる一方、決算上の数値を優先する姿勢は、非難されるべきものだ。

賛成【鈴木正洋議員】歳入における収納率は適正な水準にあり、前年度より改善している。歳出の予算執行率も適正で、事業が計画どおり進捗したことを確認できる。基金には前年度よりも多くの金額が積み立てられ、運営の持続可能性は高まった。

討論　後期高齢者医療特別会計

YouTube

反対【高橋純議員】医療費と生活費の両立に苦慮する高齢者の実態が、報告されている。安心して医療を受け、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、町は積極的な支援策を講じるべきだった。高齢者の負担を軽減する取り組みを求める。

賛成【長谷川幸子議員】県連合組織との緊密な連携のもと、業務を適正に運営してきたことが、決算からは確認できる。町では保険基盤安定繰入金など適切な財政措置が講じられており、制度の平準化と安心感の確保につながっている。

令和７年度決算審査 スミズミQ&A

決算特別委員会で、約20項目の質疑と答弁があった中から、主なものをまとめました。

町税不納欠損と個人町民税

行財政全般

問 町税不納欠損額と収入未済額の増減、困窮者への対応や、個人町民税が増えた要因は。

答 不納欠損額の大きな要因は、町内法人と関連法人２社が自己破産し、不納欠損処理したため。収入未済額は前年度より減少した。
生活困窮世帯には状況を確認して分割納付などの相談につなげ、福祉窓口へ案内した。
個人町民税が増加した最大の要因は農業所得で、令和6年産米概算金が上昇したため。

生活バス路線維持対策

暮らし・建設

問 生活バスの利用動向・路線維持効果は。

答 令和７年度運行数は１万2012便、乗車人数は14万2487人で、前年度比8673人減である。主な利用者は通学する高校生で、減少傾向である。
未成年や免許を持たない方の移動手段として日常生活の維持につながっている。

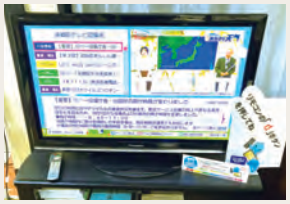


テレビ回覧板

行財政全般

問 情報発信件数と利用料金は。アクセス数など利用状況の把握・検証はしているか。

答 情報発信件数は424件。利用料金は月額５万5000円だが、４月から９月までの半年間は試用期間により発生しなかった。
テレビデータ放送の特性上、利用状況の把握はできない。



移住定住支援

商工観光

問 移住等の相談件数内訳、移住促進奨励金の交付件数、お試し移住参加者の移住実績は。

答 相談件数は合計126件で、内容は総合対応が42件、奨励金に関するものが36件、空き家情報が52件など。奨励金の交付は35件。お試し移住参加者は県外から３件で、全員が本町へ移住している。



シニア元気いきいき券

福祉・健康

問 温泉・温水プールの施設別利用内訳と、交通費のタクシー・バス別利用内訳は。

答 利用内訳は次のとおり。

千畑温泉サン・アール	15,434 枚
温水プール	382 枚
六郷温泉あったか山	18,779 枚
湯とぴあ雁の里温泉	7,905 枚

タクシー（３社合計）	7,035 枚
バス	1,027 枚

みずもーるシステム構築業務委託

子育て

問 決算額が大幅減となった予算補正の妥当性、機能変更に伴う費用削減の経緯は。

答 国交付金の採択に伴い、令和７年度当初計上分を令和６年度補正に組み替え、令和７年度へ繰り越した。繰り越した予算は補正できないため、不用額が生じた。
システム構築は運用実態を精査し、既存システムを活用して機能を見直すことで経費を縮減した。

温泉施設における障害者割引

福祉・健康

問 障害者手帳所持者等の施設利用料割引の件数内訳は。

答 施設別の割引件数は次のとおり。

千畑温泉サン・アール	1,415 件
六郷温泉あったか山	870 件
湯とぴあ雁の里温泉	916 件

（付添割引を含む）

特定空家の行政代執行・略式代執行

暮らし・建設

問 特定空家に対して実施された行政代執行および略式代執行の具体的な内容と進捗は。

答 行政代執行は、所有者死亡・相続人応答なしのため実施し、解体費は相続人へ請求・督促中である。
略式代執行は、所有者死亡・全相続人放棄のため実施し、費用の回収と空地の売却・活用に向け、秋田地方裁判所大曲支部に対し、相続財産清算人選任の申立を行っている。

一般質問
（９月定例会）



高橋（たかはし）　純（じゅん）議員

暮らし・環境

福祉健康

農業

YouTube

問 基金を活用した支援や全世帯給付金の実施は

答 基金の目的や財源制約から困難

議員 物価高が続く中、財政調整基金等を活用した直接サポートはできないか。生活支援給付金や燃料費助成の実施についての見解は。

町長 依然として続く物価高が家計の負担となっていると認識している。しかし、**各基金は条例で定める設置目的や使途制約があり、生活支援等への活用は難しい。**

生活支援給付金等は国・県の財源を活用してきたが、特定財源がない中で一般財源により実施することは現時点では考えていない。



地域の介護を守る手厚い支援策を

議員 町独自の「運営支援交付金」の支給や、ヘルパーの処遇改善を検討する考えはないか。

町長 事業所の経営安定化は、介護保険制度の中で対応されるべき課題であり、広域運営の観点からも**町独自に新たな支援策を講じることは圏域内の一体的な運営体制を損なう**ため、現時点では考えていない。

所得補償制度の創設は

議員 「農業経営継続補助金」の創設や、米の生産コストを保証する「所得補償制度」を検討する考えはないか。

町長 個人町民税の農業所得合計額は大幅に伸びており、**高騰分を補填する緊急性は現在のところ低いと判断**している。

所得補償も既存のセーフティネットの活用を優先する考え方が望ましいため、町独自制度は考えていない。

一般質問
（９月定例会）



鈴木（すずき）正洋（まさひろ）議員

福祉健康

YouTube

問 コミュニティセンターにもAEDの設置を

答 迅速に設置を進める

議員 ＡＥＤは、町内の公共施設35施設42箇所に設置されているが、各地区のコミュニティセンター等には設置されていない。災害時の指定避難所であり、スポーツ利用も行われていることを考慮すれば、ＡＥＤを設置すべきではないか。

町長 **迅速に設置を進める。**

ＡＥＤは屋外に設置を

議員 夜間や休日にもＡＥＤを使用できるよう、「設置の屋外化」を進めていくべきではないか。

町長 **現在のところ、屋外設置は考えていない。**県内の設置例はごく少数であり、故障リスクが高まりメンテナンスの負担増にもつながることなどから、推奨されていない。

ＡＥＤの一括調達を

議員 町が管理するＡＥＤを、一括して調達するようにしてはどうか。

町長 保守管理や更新手続きの効率化は図られるが、現在の契約を途中解約することになるため、**メリットとデメリットを比較検討し、全庁的な一元管理の可否を決定する。**

ＡＥＤ設置情報の周知改善を

議員 ＡＥＤ設置場所の情報周知について、改善する必要があるのでは。

町長 町ホームページ上にある**設置施設の一覧データには、具体的な場所が分かるように情報を追加**する。

令和８年度中に更新予定の**防災ハザードマップには、設置施設を表示**する。



一般質問
（９月定例会）



長谷川幸子（はせがわゆきこ）議員

暮らし・環境

YouTube

問 災害時の受援訓練を行うべきでは

答 計画的に実施する

議員 大規模災害時、自治体には平時をはるかに上回る業務が発生する。その際、不可欠なのが他の自治体から応援職員を受け入れる受援体制だ。応援職員を直ちに住民支援へと配置するなど、受援計画を実行性のあるものにするために、受援訓練を行うべきではないか。

町長 受援計画の訓練が必要と考え実施していく。

職員の受援体制の理解を深めるため、内閣府提供による映像の視聴を実施するほか、県総合防災課の研修会を受講させる。令和５年秋田県内大雨対応、令和６年能登半島地震、令和８年熊本地震に職員を派遣しており、住家被害認定調査業務を経験している。こうした職員を講師として被災地における業務の講習会を開催する。

また、毎年実施している庁内防災訓練において、受援計画に定める受援シートの各業務内容や流れなどの確認を行う受援訓練を計画的に実施していく。

共同墓地の通路の舗装を

議員 利用者が安全に行き来できるように通路をアスファルト等で舗装できないか。

町長 墓地利用者の30％の方が、区画前の通路を自己負担で舗装されている。公平性の観点から、自己判断での対応になると考えている。

通路の段差解消をできる範囲で対応していくほか、今後も安全に通路を通行できるよう草刈りの管理等を行っていく。



総務産業常任委員会

農業

【所管事務調査】
8月18日

【調査内容】
・スマート農業の現状
・園芸等メガ団地支援

調査 規模拡大を目指す先端農業支援を確認

スマート農機を導入して規模拡大を図る農業者に支援があります。要件は、町内に住所または所在地を有する担い手で、秋田県仙北平野土地改良区が管理運営するRTK基地局を利用し、翌々年度までに作業面積を１割以上拡大することです。

●スマート農機導入支援事業（令和７年度実績）

区分	件数	補助金額	導入機械
スマート農機導入	９件	730万円	自動操舵付きトラクター１台、農業用ドローン８台
自動操舵システム取付	５件	232万円	トラクター３台、田植え機２台

●スマート農業の取り組み状況

スマート田んぼダム
（畑屋中央地区）

スマートフォン等で遠隔操作可能な自動給排水栓を導入。大雨予報時に事前の一斉落水により田んぼダムの効果を高める。通常時は自動給排水栓を遠隔で操作し水管理を省力化。

自動潅水（かんすい）システム
（きゅうりメガ団地）

株式会社たかはし農舎では、土壌分析センサーと連動したＡＩ潅水施肥制御装置などの高度な育苗自動点滴潅水システムを導入。経験や勘に頼っていた水やりを省力化・省人化。

スマートコントローラー
（しいたけメガ団地）

株式会社Ａｇｒｉ－ｅでは、ＩｏＴハウスコントローラーを導入。しいたけハウスの環境制御や、しいたけの栽培管理を自動化・最適化。



委員からは、「**担い手の規模拡大ということが重要。成功事例等、実績のＰＲを含めた周知徹底を図り、新たに挑戦する希望者に対し支援をしてほしい**」などの意見が出ました。

みさと 議会だより
2026 11
■第94号　令和８年10月30日発行

地域農業の再生を学ぶ

７月30日、秋田県町村議会議員研修会において、東京大学特任教授の鈴木宣弘氏による講演「日本の米政策について」が行われました。

鈴木氏は、資材価格高騰や米価低迷に伴う稲作農家の疲弊が「令和の米騒動」の根本原因であり、国内生産基盤の崩壊は深刻な食料危機を招くと警鐘を鳴らしました。

その上で、消費者が安く買い農家所得を保障する「直接支払い」制度の確立や、過度な減反から需要創出・増産体制への転換を提唱。さらに、学校給食における地場産・有機農産物の活用や「ローカル自給圏」の構築により、生産者と消費者が一体となって地域循環型の農と食を守る重要性を訴えました。



お話を聞かせてください



美郷町議会では、町民のみなさんの声を今後の議会活動の参考にさせていただくため、意見交換会をする団体・自治会・グループ等を随時募集しています。みなさんからの申し込みをお待ちしております。

対　象　者

町内に在住、通勤、通学する方（団体・自治会・グループ等）

意見交換の内容

申込書に記載された町政や町議会に関するテーマで意見交換を行います。

開催日時及び場所

申込団体等と調整のうえ決定します。

参加議員

テーマに応じ、数人の議員が参加します。

応募方法

「議会との意見交換会申込書」に必要事項を記載のうえ、美郷町議会事務局へお申し込みください。
郵送、FAX、Eメール、お持ちいただく等いずれかの方法でお願いします。

※「申込書」の様式は、美郷町議会のホームページからダウンロード、または議会事務局までお問い合わせください。

HP:2344

【住　　所】〒019-1541　美郷町土崎字上野乙170-10
【電　　話】0187-84-4912
【F　A　X】0187-85-3102
【Eメール】gikai@town.misato.akita.jp

動画で観よう！

令和８年６月以降から本会議の映像を「美郷町議会ユーチューブチャンネル」で録画配信をしています。

免責事項をご確認の上、ご覧ください。

HP：2452

熊本地震で被災された方々にお見舞い申し上げます

令和８年熊本地震で被害を受けられた方々を支援するため、美郷町議会は９月１日に義援金として５万円を送りました。被災された方々が一日でも早く日常の生活を取り戻してもらうとともに、被災地の復旧・復興を願っています。



お詫びと訂正

みさと議会だより第93号表紙に掲載しました「議会のうごき」内において、**加藤明見さん**のお名前に誤りがありました。深くお詫びします。

議会定例会　傍聴にお越しください

次の定例会は12月の開会予定です。詳しい日程は、11月下旬に決定しますので、美郷町テレビ回覧板、町ホームページ、SNS等をご覧ください。

活　動　記　録

8/18	総務産業常任委員会（所管事務調査）
8/24	議会運営委員会
8/28	議会連絡会
	美郷町議会活性化検討会
8/31	議会定例会（～11日）
9/3	総務産業常任委員会
9/7	教育民生常任委員会
9/8	決算特別委員会
9/11	議会運営委員会
9/25	秋田県町村議会広報研修会
9/30	議会運営委員会
10/2	議会広報常任委員会
10/8	美郷町議会活性化検討会
	議会広報常任委員会

美郷町議会事務局
〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙170番地10
（美郷町役場内）
E-mail gikai@town.misato.akita.jp
TEL.0187-84-4912　FAX.0187-85-3102

VEGETABLE OIL INK
地球環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。

「みさと議会だより（年８回発行）」次回は 12 月１日の発行です。

美郷町ホームページ　http://www.town.misato.akita.jp
印刷・製本／株式会社三森印刷